

## 社会教育

学びを通じた人づくり、  
つながりづくり、地域づくり

# 社会参加のすそ野を広げるために

2020年12月に発表された、横浜市社会教育委員会議の提言「本市における社会参加のすそ野の拡大について」では、市民の学びを継続的に支援する仕組みづくりやコーディネーターの必要性が述べられています。

提言を受け、夢コミネットでは3月に勉強会を開き、行政職員や社会福祉協議会職員等とともに意見交換を重ねてきました。市民の社会参加を進めるためには、まず「すそ野の見える化」と、市民の学習活動を生み出すコーディネーターの存在が重要とあります。さらに、市民の学びを組織できる人材として、「社会教育士の育成」「社会教育士等の活用」が必要であると位置づけられています。

第32期 横浜市社会教育委員会議提言－本市における社会参加のすそ野の拡大について 概要版

[https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shogaigakushu/hokokusho/shakaikyoiku/shakaikyoiku.files/0092\\_20201204.pdf](https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shogaigakushu/hokokusho/shakaikyoiku/shakaikyoiku.files/0092_20201204.pdf)

## 706名の「社会教育士」が誕生！

省令改正により、市民の学びを組織し、豊かな地域づくりへの展開を支援する社会教育の専門家に対して、文部科学省より、社会教育士の称号が与えられることになりました（施行2020年4月）。社会教育士は、「講習や養成課程で習得したコーディネート能力、ファシリテーション能力、プレゼンテーション能力を活かし、福祉やまちづくり等の社会の多様な分野における学習活動の支援を通じて、人づくりや地域づくりに中核的な役割を果たすことが期待されています。」とあります。

そうして、この春、706名の社会教育士が誕生しました（2021年5月31日発表）。

## 社会教育士

社会教育士について：文部科学省

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/01\\_l/08052911/mext\\_00667.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/01_l/08052911/mext_00667.html)

## 若者や企業の 社会参加に取り組みます

社会教育・まちづくりのNPO法人である夢コミネットは、日頃より、学びあいの専門性を生かし、市民の社会参加・仲間づくりの推進に取り組んできました。

この度、協働事業の講座等を担当する時任和子が社会教育士の称号を取得しました。

今後はさらに習得したスキルを法人全体で生かし、市民の社会参加の促進に取り組んでいきます。

学びを基盤とした地域社会の構築をめざし、地域の人々と一緒に、行政や関係機関と連携・協働を進め、地域課題に向き合っていきます。

## 「よこはま社会教育士 ネットワーク」を立ち上げました

社会教育士誕生の時期に合わせ、その受け皿となる組織が国や県で立ち上がっています。夢コミネットでは横浜市の社会教育士および社会教育士をめざす人たちの学びのコミュニティとして「よこはま社会教育士ネットワーク」を立ち上げました。社会教育に携わる者同士が情報交流を行い、力量形成に役立つ場をつくっていきます。

学習支援者として学び続けることで、横浜市の社会教育をともに推進していきたいと思えます！



# 2020年度 事業報告

2020年度はコロナ禍の影響を受けた一年となりました。上半期は休止せざるを得ない取り組みも多かったものの、後半は感染予防対策を徹底し、団体のもつ多様な主体との連携・協働によるネットワークを生かしながら、学びあいとまちづくりに関する事業および広場事業等を実施しました。

## ●市民活動応援事業

地域の人が、生涯学習や地域活動に取り組むきっかけになるよう、また、多様な活動に主体的に参加できるように助言やサポートを行いました。また、活動をはじめたい人への情報提供や活動機会をコーディネートすることで、市民の社会参加につなげました。



### 横浜市介護予防・ 生活支援サービス補助事業 (横浜市サービスB事業)

10月より週5日、行政・地域ケアプラザ・町内会と連携し、社会参加に重点を置き、地域の介護予防・地域福祉の向上に取り組めました。市民が主体的に参加できるよう役割を設け、健康体操やゲームを行うとともに、ボランティア体験等の場をコーディネートしました(介護予防プログラム21回 224名)。

### 地域交流拠点 コミュニティステーション 夢まるの運営

商店街や自治会と連携して10回の連続講座を実施。防災等をテーマとし、地域での顔見知りの関係を深めました。気軽に集える場として活用してもらえるように発信しました。また、磯子区地域デビュー講座修了生が立ち上げたグループの活躍する機会を設け、活動が継続するためのサポートを行いました。

### 地域子ども食堂 「みんなのテーブル」 ・食支援配分会の実施

家庭の事情等で、十分に食事をとることが難しかったり、一人で食事をする子どもたちに地域のボランティアと一緒にカレーライスをつくり提供しました。世代を超えてテーブルを囲むことで、地域のおとなが子どもたちを見守り、多世代が交流する機会に(3回実施)。また、困窮家庭を対象とした食品の配分会を開催しました(60世帯)。

## ●学びあいと仲間づくり事業

行政や地域施設等と連携・協働し、地域活動の担い手育成や仲間づくりをテーマに講師およびファシリテーターとして事業に参画しました。学びあいをおして参加者相互のつながりを促進するとともに、地域で活動する楽しさや意義を伝え、持続可能な地域づくりを推進しました。



### 担い手育成講座の企画運営

関心のあることや経験を生かして地域で活動したいと考える人に対して、地域の魅力や特色を見つめ直す機会の提供、また多様な人との関係のとり方の工夫などを伝えることで、地域づくりの担い手育成に取り組めました。講座終了後も、学びや活動が継続するようにサポート(連続講座7企画、単発講座6企画)。

### オンライン仲間づくり講座

コロナ禍のため対面活動が難しくなったことから、地域の人にオンラインという新たな手法を身近に感じてもらう機会をもちました。気軽に取り組めるように、美味しいコーヒーの淹れ方講座や子育て親子に向けた手遊び等、楽しくわかりやすい講座を開催(6回)。機材のない人には、法人の機材も使用できるようにしました。

### 若者・学生応援活動

大学生主体による地域の小学生との学びの場づくりの企画をサポートしました。(小学生を対象とした工作講座の実施)。このような体験を通して、若者の社会参加を推進しました。また、継続してる若者相談では、メール等での相談の他、連携する自助グループのコミュニティに出向きメッセージを伝えました。



## ●連携・ネットワーク活動

団体のもつコーディネート力やネットワーク・情報を基に、多様な主体と連携・協働することで、人づくり・つながりづくりの取り組みを強化し、地域づくりを推進しました。幅広い組織や人と連携することで地域の課題をより把握し、団体の取り組みに活かしています。



### 商店街との連携事業

磯子区内の商店街と連携した地域の賑わいづくりや交流イベントのサポート。地域のボランティアに事業への協力を促し、社会参加することによって地域の活性化へとつながるよう、コーディネートしました。



### 連携・ネットワーク活動

・主な連携先:

磯子区NPO連絡会、  
区地域福祉保健計画推進委員会、  
区社協ボランティア部会、

区子育て支援連絡会、  
区発達障害児・者地域支援ネットワーク連絡会、  
区要保護児童対策地域協議会、磯子リビングラボ、  
保土ヶ谷区市民活動支援委員会、市市民活動運営支援部会、  
横浜市立保育所民間移管にかかる法人選考委員会、  
横浜市一時預かり選定委員会、横浜市子ども子育て会議等

## ●地域啓発いそごキャラバン事業

障がいのある人もない人も、支える人と支えを受ける人に分かれることなく共に支え、認め合える多様性を尊重する社会の実現をめざしています。そのための人権教育・発達障がいの理解啓発プログラムを構築し、提供しました。



### 子どもの発達が気になりな 保護者のおしゃべり会 虹色カフェの開催

ピアカウンセリングの場を設けることで、不安を抱える保護者に寄り添い、地域情報や進路について語り合える機会としました(7回実施)。

### 人権教育 いそごキャラバン出前講座

磯子区、戸塚区の小学校に出向き「感覚の違いを知ろう」をテーマに、小学3年・4年生と保護者に対して出前講座を実施しました。また旭区内地域ケアプラザ職員に対して、発達障がいについて地域にどう伝えるかの研修として実施しました。

## ●地域の中で子育てをサポートする事業

孤立しない子育て環境をつくるために、地域でのつながりづくりをすすめ、子育て中の親子が楽しく交流できる居場所を運営しました。多様性を生かし、誰もが自分らしく子育てができるよう、地域全体で子育てを応援する環境づくりの推進に取り組みました。同時に、親子にとって社会参加の一步になるよう、地域に関わるきっかけを提供しました。



### 親と子のつどいの広場 「夢ひろば」の運営

【開催日数141日、利用者1,709人、一時預かり105人】

横浜市補助事業である「夢ひろば」の運営を通して、子育て中の親子が楽しく交流できる居場所をつくり、広場の機能である、交流・相談・情報・講習会等に取り組みました。この場に来ることが難しい親子に対しても交流ができるように、スポーツセンターと協働したオンライン親子講座を開催しました(6回)。

### 親と子のつどいの広場 「夢たま」の運営

【開催日数141日、利用者1,926人、一時預かり19人】

子育て中の親子が安心して交流できるスペース「夢たま」の運営。地域や商店街と連携し、多世代交流やひろばにボランティアが関わることで、子育てを地域で支えるための環境づくりを推進しました。2月より一時預かりの取り組みも開始しました。

## 2021年度 元気な地域をめざして 活動がスタートしています



### ●地域デビュー講座

～地域への扉を開こう～新たな仲間とつながろう～

地域でのつながりの大切さをテーマに、洋光台地域ケアプラザと共催の講座がはじまりました。まちあるきや実践者に会う、地元の魅力の再発見等とおして、仲間づくりを進めています。講座をきっかけに新たなネットワークづくりをめざします。



### ●元気な地域をめざして

～はじめてのSDGs×ワークショップ～

すべての人々にとってよりよい、持続可能な未来を築くためのSDGs(持続可能な開発目標)。より身近に、自分ごととして考えられるよう、少人数の楽しいワークショップ形式で実施しました(いそご地域活動フォーラム2021への参加)。

◎夢コミネットでは、**かながわSDGsパートナー登録に続き、Y-SDGs認証も申請中です!**



### ●コロナ禍の今だからこそ

～ママのための産後美姿勢ウォーキング～

磯子スポーツセンターとのコラボ新企画。ママの体力回復を目的とした「時速7キロウォーキング」で夢たまから海の見える公園を往復しました。歩きながら公園や地域情報もGET!ウォーキングの後は、夢たまタイムで絵本や手遊びをみんなで楽しみました。

**次回のウォーキングは7月16日 10:30～夢ひろばを出発、ランチ横浜南部市場をめざします。**

### 会員募集! 誰もが夢をかなえられる社会を目指して

夢コミネットは、会員の皆さんに支えられて運営しています。ぜひ会員として「地域での仲間づくり」活動を応援してください。

- ◆ 正会員 年会費 6,000円  
会の目的に賛同し、運営に積極的に参加する個人、議決権有、会報誌・メールマガジンの送付、主催講座の割引
- ◆ 準会員 年会費 2,000円  
会の目的に賛同し、会の提供するサービスや講座等に参加する個人  
会報誌・メールマガジンの送付
- ◆ 賛助会員 年会費 5,000円(1口以上)  
会の目的に賛同し、運営を財政的にサポートする個人または団体会報誌の送付

#### 〈入会方法〉

ご入会は会費を下記にお振込みくださいますようお願いいたします。

- 郵便振替 00290-6-94824 夢コミネット
- 銀行振込 横浜銀行 磯子支店 普通 1323239 夢コミネット
- ★ ふるさと納税「よこはま夢ファンド」で夢コミネットに寄付が可能です。

### 編集後記

コロナ禍で大きく変わったことが、活動のオンライン化です。リアルに会ったり、集まって何かをすることが難しくなり、仕方なく始めた取り組みでした。それでも、「オンラインなら参加できる!」「オンラインが助かる」という声が出てきました。ピンチがチャンスに!

つながりは消さない。



夢コミ通信 ぱぴ vol.38

発行:2021年6月15日

NPO法人 夢・コミュニティ・ネットワーク  
〒235-0036

横浜市磯子区中原4-26-27-204

TEL&FAX: 045-342-7879

Email: info@yumecomi.net

URL: http://www.yumecomi.net/

